

令和4年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

大阪府

行事名称	消防訓練
実施期間・日時	令和5年1月26日(木) 10時~11時
実施場所	日本民家集落博物館
主催者	豊中新千里消防署・日本民家集落博物館

■実施内容

訓練の想定

飛騨白川の民家（国指定重要有形民俗文化財）北西角付近の外壁から軒先が燃えている想定で訓練を実施。

訓練の内容

火災現場の確認後、事務所に無線連絡、逃げ遅れた来館者の有無を確認、初期消火、事務所より119番通報、消火栓の開閉、ホースの取り扱い、放水、消火器による消火訓練

参加者及び役割分担

日本民家集落博物館文化財管理員（1名）/火災現場発見・事務所へ通報・逃げ遅れ来館者の有無確認・消火栓の開栓・放水

事務補助員（1名）/現場からの通報を受けて、火災現場へ急行・ボランティアに声かけし、バケツリレーによる初期消火作業・放水

主任学芸員（1名）/現場からの通報を受けて、事務所から119番通報・放水

ボランティア（6名）/事務補助員の指導に従い、バケツリレーによる初期消火作業

豊中東泉丘消防団（5名）/放水訓練

豊中新千里消防署（3名）/全体統括、放水訓練、講評

特に工夫した点

ボランティアの方々に広く声かけし、少しでも多くの方々に消防訓練に参加してもらうよう努めた。初期消火の際、実際にバケツに水を入れてバケツリレーを行い、現実的に初期消火にかかる時間と手間を体験することが出来た。コロナ対策の為、参加者は全員、マスク着用とした。

問題点・課題

訓練日の前日から積雪があり、厳しい寒さとなったこともあり、事前に周知したにも関わらず、ボランティアの参加者が想定より少なかった。ここ最近の高齢化と相まって、今後の文化財防火に積極的に協力してくれる人材の育成が課題となっている。

その他

今後、ボランティアに対し、さらなる防火訓練の周知徹底を図っていきたい。

訓練風景



放水訓練



消火器使用訓練